

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

令和3年度事業報告書

新型コロナウイルスの終息が見えない中で、本会では地域での福祉活動への支援を引き続き実施しました。地域においても、サロンをはじめ人が多く集まる行事はやむを得ず中止する場合もありましたが、コロナ禍であっても見守り訪問活動を継続実施し、インターホン越しでの声かけや電話などでの安否確認など各地区社協の創意と工夫により取り組んでいただきました。

自立生活支援関連では、新型コロナウイルスの影響により収入減少となった世帯を対象とした生活福祉資金特例貸付の対応をしました。この特例貸付の貸付件数は、ピーク時の半分以下になりましたが、生活に困窮する相談者が絶えず、秋田県社会福祉法人経営者協議会や秋田県共同募金会の助成による生活用品等の支給、フードバンクあきた、民間企業・団体から寄付された食料を生活困窮世帯に配布し支援しました。また、令和4年1月には成年後見制度の利用促進を図る中核機関と日常生活自立支援事業および法人後見事業を一体的に実施する秋田市権利擁護センターを設置し、日常生活上の判断に不安がある方が地域で安心して生活ができるよう相談対応して参りました。

令和3年7月の大雨により、秋田市で76棟の浸水被害が発生しましたが、新型コロナウイルスの影響によりボランティア募集を県外まで広く発信することが難しいことから、秋田市内の個人・団体からのボランティアと秋田市地域福祉おむすびネットに登録している社会福祉法人、「災害等ボランティア確保の連携・協力に関する協定」を締結している秋田県中部地区郵便局長会・秋田銀行・北都銀行の方々の協力をいただき、ボランティア派遣要請のあった添川地区、下北手地区の浸水世帯へ支援活動を行いました。

このように毎年発生している大雨被害、その他の災害時におけるボランティア活動の円滑な実施に向け、秋田市と「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」および「災害援助法に基づく救助と災害ボランティア活動との調整に関する業務委託契約」について協議を行いました。

また、秋田市地域福祉アクションプラン2019（秋田市地域福祉活動計画）に掲げた地域福祉フェアを令和4年2月に開催し、市社協および地区社協で取り組んでいる事業や地域福祉活動等をパネルで紹介し、市民へ地域福祉について知っていただく場を設けました。

その他、令和3年度事業計画に対する取り組みについては、別紙のとおり報告します。

1 小地域福祉活動の推進

(1) 見守りネットワーク事業 ※ () 内は前年度実績

・各地区社協、地区民児協をはじめとして町内会長、福祉協力員等との連携を図り、地域内の見守りが必要な高齢者世帯等への見守り・声かけ活動や安否確認等を行い、孤立化を予防するとともにニーズや緊急事態の早期発見に努めた。

実施地区	39地区	(39)
------	------	------

- ・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。
- ・コロナ禍が続き、非接触で安否確認を行うなど感染対策に配慮しながら各地区の創意工夫で取り組んだ。
- ・広報あきたに事業内容を掲載し啓発に努めた。

(2) 救急医療情報キット事業（安心キット事業）

- ・各関係機関や見守りネットワーク事業と連携しながら、安心キット事業の更なる推進を図った。
- ・安心キットの設置世帯数 16,079 世帯（令和2年度末）
- ・安心キットの活用件数 41 件（令和3年1月～12月、秋田市消防本部から情報提供）
- ・安心キットの更新啓発用ポスターを 300 枚作成し、市内の郵便局（簡易郵便局を除く）に送付した。
- ・安心キットの啓発に努めた。（障がい者のためのくらしのしおり、暮らしに役立つサービス、広報あきた等）
- ・事業の円滑な運営等を図ることを目的として推進会議を開催した。

開催日 令和3年12月21日（火） 秋田市老人福祉センター 出席者 20人

案件 安心キット事業の実施状況について
安心キットの活用状況について
今後の課題等について意見交換

(3) 車両・除雪・災害関連用品等の貸出 ※ () 内は前年度実績

・地区社協、町内会等の各団体に対して、行事・イベントの開催や買い物支援などのために機器および機材、または福祉車両等を無料で貸し出し、コミュニティ活動および地域福祉活動の活性化、地域住民やボランティア団体等が主体的に地域での支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援した。

貸出物品	貸出件数	貸出物品	貸出件数
軽トラック	42件 (27)	ワイヤレスアンプ	45件 (48)
リフト付き送迎車	41件 (77)	DVDプレイヤー	8件 (2)
送迎車	77件 (30)	ノートパソコン	32件 (23)
血圧計	0件 (0)	プロジェクター	62件 (76)
万歩計	0件 (0)	スクリーン	44件 (40)
握力計	6件 (6)	暗幕	4件 (3)
ストップウォッチ	0件 (0)	書画カメラ	0件 (0)
体組成計	0件 (2)	綿菓子機	20件 (19)
バランスボール	0件 (1)	ポップコーン機	6件 (5)
塩分検査器	0件 (0)	かき氷機	10件 (10)
骨伝導電話機	0件 (0)	テント	1件 (0)

足指力計測器	0件 (0)	ビンゴ	8件 (7)
フロアカーリング	3件 (5)	ダーツ	2件 (1)
スロットボール	15件 (8)	発電機	0件 (1)
スマイルボウリング	4件 (3)	除雪機	2件 (0)
室内用ペタンク	12件 (3)	融雪機器	0件 (0)
室内ボールゲーム	0件 (1)	炊き出し機器	0件 (0)
グラウンド・ゴルフ	9件 (6)	D V D	0件 (2)
ターゲット・バードゴルフ	0件 (1)	C D	0件 (0)
輪投げ	15件 (16)	図書	0件 (0)
カラオケセット	28件 (30)		

・買い物支援事業の実施状況

	実施回数	利用者 延べ人数	ボランティア 延べ人数
河辺地区社協	24回 (24)	61 (75)	24 (24)
雄和地区社協	52回 (51)	237 (253)	52 (51)

2 介護予防・交流事業の推進

(1) 地域元気アップ事業 ※ () 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

①健康づくり・生きがいつくり支援事業

助成金交付 38地区 15,518,683円 (38地区 15,518,777円)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

②地域サロン事業

助成金交付 38地区 2,405,000円 (38地区 2,412,000円)

(2) 地域サロン強化事業 ※ () 内は前年度実績

・地域サロンのさらなる充実や拡大を図ることや高齢者や障がい者等の傾聴により社会的孤立をより一層予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 23地区 (25地区) 1,035,000円 (1,200,000円)

3 子育て支援の推進

(1) 子育て支援事業 ※ () 内は前年度実績

①子育て支援用おもちゃ貸出事業

貸出件数 16件 (13件)

②子育て講話開催経費助成事業

・地域における子育て活動支援とともに安心して子育てができる環境づくりを目的として、市内の子育てサークルおよび団体が開催する「子育て講話」に要する講師謝礼(交通費を含む)を助成した。

12団体 延参加者 親90人 子107人 計197人 (16団体 計390人)

③子育て支援への助成等

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。

35 地区 700,000 円 (35 地区 700,000 円)

4 地域での福祉活動への支援

(1) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ () 内は前年度実績

・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	35 地区	(35)
福祉協力員数	1,217 人	(1,177)

・福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員の活動について啓発した。(1 地区社協)

(2) 地区社協事務担当者研修会の開催

開催日 令和4年1月26日(水)

会場 イヤタカ 2階 ポストホール

参加者 37 地区 74 人

内容 研修 事業内容および事務手続きについて

(3) 地域福祉活動合同研修会

・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

(4) 拠点づくり・事務機器整備支援事業 ※ () 内は前年度実績

・地区社協の拠点づくりの促進または拠点の強化、地区社協の事務機器の整備を支援するため助成を行った。

拠点づくり 2 地区 199,110 円、事務機器整備 8 地区 240,000 円

(拠点づくり 1 地区 100,000 円、事務機器整備 5 地区 150,000 円)

(5) 地区社協各種研修会への支援 ※ () 内は前年度実績

①地区社会福祉協議会研修支援事業

・複数の地区社協が合同で実施する研修会の開催経費や地区社協が実施する研修会で移動に要するバス等の借上げ料の助成を行うこととしていたが申請が無かった。

(研修会の開催経費 1 地区 20,000 円、バス等の借上げ料 1 地区 20,000 円)

②地区社協ブロック研修会

・新型コロナウイルス感染症を考慮して、各ブロックで開催を自粛した。

③地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。

(6) 地区社協活動等への支援と協力 ※ () 内は前年度実績

①「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力をを行った。

②横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地区社協	9 件	(7)
地区民児協	3 件	(2)
町内会	7 件	(10)
福祉団体・その他	49 件	(45)
計	68 件	(64)

③大型印刷機等の利用支援

紙を持参することにより印刷費を無償にして、活動を支援した。印刷実績 190,582 枚 (48,885)

④地域福祉活動推進費の助成

39 地区 14,396,960 円 (39 地区 14,421,600 円)

5 相談支援活動の充実

(1) ふれあい福祉相談センター事業

- ・相談体制 相談員 3 名 (1 日 2 名体制)
- ・開設日数 241 日 (週 5 日 [月～金]、午前 9 時～午後 4 時)
- ・相談件数

単位:件

	生	年	職	住	家	結	離	健	医	精	人	財	事	児	教	心	母	老	苦	人	日	ひ	そ	合
	計	金	業	宅	族	婚	婚	康	療	神	権	産	故	童	育	身	子	人	情	間	常	き	の	計
			・					衛		保	法			福	障	父	福		関	生	こ	他		
			生					生		健	律			社	が	子	祉		係	活	も			
当年度	18	3	35	8	70	0	2	33	24	291	14	18	2	1	0	308	1	30	0	22	325	4	94	1,303
前年度	21	4	55	6	66	0	10	26	22	273	12	9	7	0	0	236	1	39	1	20	427	0	95	1,330

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士による無料法律相談 ※ () 内は前年度実績

毎月第 3 月曜日 秋田市老人福祉センター (協力:秋田弁護士会) 単位:件

件数	相談内訳						合計
	家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	
42 (51)	4 (7)	6 (6)	11 (6)	0 (1)	20 (22)	7 (9)	48 (51)

※1 回に複数の相談内容があったため、件数と相談内訳の合計は異なる。

※令和 3 年度より、1 人あたりの相談時間を 30 分とし、定員 4 名とした。

- ・ふれあい福祉相談センターや弁護士による無料法律相談の開催について広報あきたやホームページへ掲載、関係機関へリーフレットを配布し市民へ周知した。

6 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいさん派遣事業 ※ () 内は前年度実績

- ・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

①利用状況

実利用者数	85 人 (94)	男 19 人 女 66 人 (男 23 人 女 71 人)
延べ利用回数	648 回 (792)	月平均 54.0 回
利用延べ時間	1,166 時間 (1,446)	月平均 97.2 時間
利用平均年齢	75.5 歳 (75.7)	
稼働日数	234 日 (283)	
登録ふれあいさん数	10 人 (9)	

②派遣理由

単位:件

内容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件数	253 (352)	5 (7)	18 (11)	0 (0)	17 (16)	16 (4)

③サービス内容

単位：件

内 容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件 数	233(292)	193(225)	160(132)	92(123)	210(279)	25(27)	34(86)	47(18)	70(48)

④他制度へ移行した人数 30人

⑤その他

・事業案内のポスターの掲示や電子看板（デジタルサイネージ）放映、広報あきたや社協だより、ホームページ等により事業のPRに努めた。

(2) 移送車貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台 数	2台	(2)
登 録 者 数	42人	(89)
利 用 回 数	206回	(175)

(ガソリン代は自己負担)

(3) 見守り機器助成事業 ※（ ）内は前年度実績

・在宅で暮らす認知症の方、知的障がい児者、精神障がい者等が道に迷ったり、自分の家がわからなくなる恐れがあるなど、不安を抱える世帯に対し位置情報を把握するための装置、本人が自宅から離れたことを知らせる装置等の利用に伴う購入費用または、レンタル費用の一部を助成した。

助成額 上限 10,000円

申 請 件 数	2件	(4)	助 成 件 数	5件	(1)	助成額合計	50,000円	(10,000)
---------	----	-----	---------	----	-----	-------	---------	----------

・位置情報を確認できる各種装置や民間サービスの情報提供を行った。

(4) 福祉機器貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

①在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

貸出物品	貸出件数
車 い す	86 (104)
介 護 用 ベ ッ ド	4 (5)
エ ア マ ッ ト	4 (4)
シ ャ ワ ー チ ェ ア ー	6 (3)
入 浴 台	0 (0)
浴 槽 手 す り	0 (0)
移 動 用 バ ー	0 (0)

②地域センターやコミセン等に車いすを設置し貸出を行った。

貸 出 件 数	173件	(83)
---------	------	------

(5) 秋田市手話通訳者設置事業【市委託】 ※（ ）内は前年度実績

・聴覚障がい者等の日常生活および社会生活におけるコミュニケーション手段のため手話通訳者を派遣した。

手 話 通 訳 者	1人	(1人)
通 訳 件 数	633件	(610件)

(6) Re再くるネット（日用品・介護用品の再利用）

・不要になった日用品・福祉機器・ベビー用品等を善意でゆずりたいという物品情報を募り、ホームページやSNSを通じて、生活困窮者を支援する団体・機関へ向けて情報を発信することにより、必

要とする市民へ物品を提供した。

ゆずる方登録者数	51人
ほしい方登録者数	22人
マッチング件数	15人

(取り扱った主な物品)
携帯電話、布団、炊飯器、電子レンジ、電気ケトル、フライパン、包丁、綿毛布など

7 健康・生きがいくりの促進

(1) 秋田市老人福祉センター【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①利用件数

個人利用者	20,400人	男 9,678人 女 10,722人
団体利用者	9,380人	1,386団体
合計	29,780人	(28,799人)
開館日数	294日	(276日)
1日平均利用者	105人	(106人)

②部屋別個人利用延べ人数

図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室
2,043(1,331)	10,312(10,558)	1,893(1,469)	17,011(15,399)	86(98)

③高齢者生きがい事業

・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	楽しい七宝焼き教室	4(4)	10人(14)
	筆ペン・ペン習字教室	10(10)	151人(160)
	水彩画教室	8(8)	140人(147)
健康づくり	太極拳教室	8(8)	109人(132)
合計		30(30)	410人(453)

④令和4年度～令和8年度までの管理運営の指定管理者へ応募し決定を受けた。

(2) 秋田市老人いこいの家【市委託】

①利用件数

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	2,762人	11,976人	10,674人
〃 女	1,880人	5,476人	7,954人
〃 子供	—	—	427人
計	4,642人	17,452人	19,055人
前年度	3,853人	15,331人	18,766人
開所日数	296日	296日	296日
一日平均	16.0人	36.6人	64.6人
前年度一日平均	14.0人	55.5人	68.0人

②利用内容

単位:人

区分	八橋		飯島		大森山	
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
会議等	793	853	0	30	0	0

老人	交流会・同好会等	3,249	2,444	2,181	2,861	1,835	2,087
	入浴	-	-	8,519	7,626	8,496	8,246
	ヘルストロン	-	-	691	228	2,760	2,618
	体育館	-	-	-	-	3,553	3,873
	いきいきサロン	253	298	90	139	113	99
	その他	370	258	5,971	4,447	1,694	1,172
子供	体育館	-	-	-	-	227	355
	子ども部屋	-	-	-	-	377	316
計		4,665	3,853	17,452	15,331	19,055	18,766

※ 浴室利用については火曜、木曜、土曜の週3日のみ

※ 八橋老人いきいきの家は浴室利用を休止。

③健康相談等

健康相談	94	24	1,690	1,754	1,574	1,567
血圧測定	495	551	2,011	1,880	1,645	1,628
処置	0	0	7	9	3	1

④いきいきサロン

	八橋		飯島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
体を動かそうADL体操	8	213	3	20	5	63	2	22
タオルを使った健康体操			3	21	3	38	1	6
秋田民謡手踊り教室			1	17				
ダンスセラピー ～心と体の音楽運動療法～	1	40	2	32	1	12	1	16
山の幸染め教室							1	5
ネクタイで小物づくり							2	32
クリスマスリース							1	7
羊毛フェルトアート(寅)							2	7
リボンレイで作るストラップ							2	11
合計	9	253	9	90	9	113	12	106
前年度	8	298	8	139	8	99	12	101

(3) 秋田市雄和ふれあいプラザ【市委託】 ※ () 内は前年度実績

①利用状況

男	524人 (626)
女	1,614人 (1,881)
計	2,138人 (2,507)
一日平均利用者数	8.8人 (10.4)
開所日数	242日 (242)

②利用内訳

各種会議	285人 (264)
交流会等	72人 (82)
同好会等	683人 (773)
いきいきサロン	106人 (101)

ゆうゆうくらぶ	174人	(170)
ヘルストロン	376人	(621)
その他の	442人	(496)

8 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター事業 ※()内は前年度実績

① 広報誌の作成および発行

「ぼらんていあ情報」を6回(隔月)発行。

② ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

(ア) ボランティア登録数

個人	91人	(87)
男	31人	(27)
女	60人	(60)
団体数	218団体	(210)
団体人数	4,572人	(4,466)
男	1,547人	(1,506)
女	3,025人	(2,960)
登録者合計	4,663人	(4,553)
男合計	1,578人	(1,533)
女合計	3,085人	(3,020)

(イ) ボランティア活動紹介件数

施設	4件	(8)
団体	14件	(1)
在宅	45件	(50)
自宅	0件	(0)
その他	4件	(2)
合計	67件	(61)

③ ボランティア養成講座の開催

講座名	開催回数	参加人数
ジュニアボランティア	5回 (0)	26人 (0)

※チビッコボランティアについては新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

④ ボランティア活動保険への加入状況

区分	団体数および人数		備考
ボランティア	3,161人 (3,412)		秋田市負担分 544,075円
内訳	団体	179団体 (183) 3,134人 (3,378)	
	個人	27人 (34)	
地区社協・地域福祉関係者	2,810人 (2,835)		秋田市負担分 424,900円 ボランティア基金 424,900円 社協会費充当 133,700円
災害ボランティア(市外)	0人 (3)		秋田市負担分 0円
災害ボランティア(市内)	72人 (12) ※令和3年7月大雨被害(添川、下北手地区)		秋田市負担分 12,600円 ボランティア基金 12,600円
除雪	402人 (535)		秋田市負担分 125,650円 社協会費充当 15,050円
内訳	団体	12団体 (14) 337人 (466)	
	個人	22人 (42)	
	町内会	6町内 (6) 43人 (27)	
合計	6,445人 (6,797)		秋田市負担分 1,107,225円 ボランティア基金 437,500円 社協会費充当 148,750円

⑤ボランティア活動に関する情報収集や情報整理を行った。

⑥福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

⑦ボランティア活動に関する講師派遣（リモート対応）

令和4年1月19日 秋田大学 人権と共生ーボランティア活動論ー 参加学生161人

⑧ボランティアセンター運用システムにより、ボランティアセンターの機能の強化を図った。

(2) 介護支援ボランティア制度の運営 ※（ ）内は前年度実績

①制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

②登録講習会 10回開催 (9) 参加者 54人 (46) 男 14人 (16) 女 40人 (30)

③登録状況

	男	女	計
前年度までの登録者数	120人 (112)	375人 (363)	495人 (475)
新規登録者数	9人 (9)	27人 (17)	36人 (26)
登録抹消者数	14人 (16)	40人 (47)	54人 (63)
計	115人 (105)	362人 (333)	477人 (438)

④指定受入機関数

介護保険施設等	117施設 (120)
放課後児童クラブ・児童館・児童センター	50施設 (51)
秋田市立図書館	5施設 (5)
計	172施設 (176)

⑤（ア）実活動者数

128人 (126) 男 17人 (38) 女 111人 (88) ※令和4年3月の実活動者数

(イ) 延べ活動時間 8,341時間 (7,241)

⑥ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	215人 (308)	
申請ポイント数	7,710P (11,420)	
換金ポイント数	7,500P (11,090)	※1P=100円
寄付ポイント数	210P (330)	※市社協への寄付 8人 (9)

⑦介護支援ボランティアを対象とした研修会を開催した。

開催日 令和3年11月30日(火)秋田市文化会館 大会議室 参加者 93人

内容 講演1 『一緒に笑顔になる寄り添う傾聴のコツ』

講師 秋田大学大学院医学系研究科保健学 専攻看護学講座 准教授 佐々木久長 氏

講演2 『コグニサイズ』

講師 八橋地域包括支援センター社協職員

(3) 除雪支援の実施 ※（ ）内は前年度実績

・除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 79件 (71)

活動件数 43件 (42) ①ボランティア対応 43件 (42) ②その他の対応 0件 (1)

・除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数
団 体	12 団体 (14)	356 人 (471)
個 人	—	30 人 (46)
計	12 団体 (14)	386 人 (471)

・除雪機器等の貸出

※2 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照

・除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助

※9 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(4) 災害ボランティアセンター

①災害時におけるボランティア活動の円滑な実施に向け、「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」および「災害救助法に基づく救助と災害ボランティア活動との調整に関する業務委託契約」について市と協議を行った。

②災害支援

令和3年7月11日夜の大雨により秋田市で76棟(床上25、床下51)が浸水被害に見舞われ、ボランティア派遣要請のあった添川地区、下北手地区の浸水世帯へ秋田市内のボランティアを派遣した。

(ア) 活動状況

活動日数 令和3年7月12日～8月16日の間の6日間
 活動件数 13件
 派遣人数 78名
 派遣内容 家具の運び出し・移動、床下の泥出し、宅内清掃の手伝い等

(イ) 協力団体・個人

- ・秋田県中部地区郵便局長会、秋田銀行、北都銀行(災害等ボランティア確保の連携・協力に関する協定締結企業・団体)
- ・社会福祉法人秋田中央福祉会、社会福祉法人松寿会(秋田市地域福祉おむすびネット登録法人)
- ・秋田市建設業協会青年部、真如苑、曹洞宗、秋田ノーザンブレッツ RFC
- ・個人2名

(5) ボランティア活動への支援

①ボランティア団体への器具・機材等の貸出

※2 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照

②ボランティア活動保険への加入促進

※9 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(6) ボランティア基金の運営

・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

①基金の状況 令和4年3月末現在

基 金	123,679,000 円
-----	---------------

②運用益の配分

事業助成	高齢者・障がい者（児）・児童等へのボランティア活動	1件	59,000円
	ボランティアの養成や啓発のための研修会・交流会	2件	64,000円
活動振興事業	市社協・ボランティアセンター事業（ボランティア保険）	1件	437,500円
合 計		4件	560,500円

(7) 秋田市ボランティア連絡協議会への協力

・事務局へ協力し、ボランティア活動をしている個人・団体および関連団体の連絡調整、情報交換を支援した。

9 自立生活支援関連事業

(1) 秋田市権利擁護センター事業

・認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの日常生活上の判断に不安のある方が地域で安心して生活ができるよう、成年後見制度の利用促進を図るとともに、日常生活自立支援事業および成年後見制度等の権利擁護支援を必要とする人を確実に支援に結び付けることができるよう、令和4年1月より秋田市権利擁護センターを設置した。また、広報あきたに事業内容を掲載し啓発に努めた。

①成年後見制度利用促進事業（市委託）

(ア) 広報機能

- ・市民向けセミナーの実施（1回）、出前講座実施（2回）
- ・リーフレットを作成し、関係機関へ配布した。

(イ) 相談機能

【対象者種別】

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	一般高齢者	その他	合計
48件	8件	40件	84件	8件	188件

【相談内容】

成年後見制度に関する事	日常生活自立支援事業に関する事	権利擁護支援全般に関する事	その他	合計
86件	20件	23件	59件	188件

【支援状況】

- ・成年後見制度申立支援 2件
- ・ケース検討会での助言等 4件
- (ウ) 成年後見制度利用促進機能
- ・日常生活自立支援事業からの移行 0件 ※移行準備1件
- ・地域連携ネットワークに関する取り組み

利用支援検討会の開催	各種会議等出席	その他情報交換
1回	6回	1回

②法人後見事業

法人後見運営委員会の実施	受任
1回	0件

③日常生活自立支援事業【県社協委託】 ※（ ）内は前年度実績

・日常的金銭管理や書類等の預かりサービス、福祉サービスの利用援助などを行い、判断能力が弱まってきた高齢者や障がい者を支援した。

(ア) 相談援助・契約件数

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数※
認知症高齢者等	1,879 (1,684)	33 (32)	10 (16)	10 (6)
知的障がい者	437 (220)	7 (4)	3 (0)	0 (0)
精神障がい者	1,569 (3,152)	17 (15)	5 (2)	2 (2)
その他	24 (26)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	3,909 (5,082)	57 (51)	18 (18)	12 (8)

※解約の内訳（理由）

- ・本人からの申し出による解約 6件 (3)
- ・成年後見人等選任による解約 1件 (2)
- ・本人死亡による解約 5件 (3)

(イ) その他

- ・契約締結審査会への出席 10回 (12)
- ・生活支援員研修会への参加 参加者 11名 (8)
- ・生活支援員 14名 活動回数 827回 (679回)

(2) 市民小口資金の貸付および償還指導等の実施 ※（ ）内は前年度実績

・市から 400 万円の原資を借り入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額 6 万円まで貸付した。(貸付期間 12 カ月以内・無利子)

①市民小口資金の新規貸付状況

区分	件数(件)	金額(円)
一般(社協受付)	9 (9)	415,000 (420,000)
被保護者等	78 (100)	1,241,000 (1,182,500)
保護課経由	77 (99)	1,216,000 (1,162,500)
自立支援経由	1 (1)	25,000 (20,000)
合計	87 (109)	1,656,000 (1,602,500)

②市民小口資金の償還状況

区分	現年度		過年度		計	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般(社協)	8 (9)	225,000 (264,000)	32 (71)	655,000 (1,410,390)	40 (80)	880,000 (1,674,390)
被保護者等	71 (85)	1,025,000 (831,500)	33 (63)	422,000 (761,800)	104 (148)	1,447,000 (1,593,300)
保護	70 (85)	1,000,000 (831,500)	31 (59)	387,000 (744,000)	101 (144)	1,387,000 (1,575,500)
自立	1 (0)	25,000 (0)	2 (4)	35,000 (17,800)	3 (4)	60,000 (17,800)
計	79 (94)	1,250,000 (1,095,500)	65 (134)	1,077,000 (2,172,190)	144 (228)	2,327,000 (3,267,690)

③市民小口資金の完済、未完済の状況

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)
完 済	65 (81)	981,000 (866,500)	46 (88)	899,000 (1,665,190)	111 (169)	1,880,000 (2,531,690)
未完済	22 (28)	406,000 (507,000)	332 (373)	7,020,506 (8,178,506)	354 (401)	7,426,506 (8,685,506)

④督促状送付

(6月、12月)計 642件

⑤不能欠損

平成22年度分 22件 528,000円

(3) 生活福祉資金等貸付事業【県社協委託】 ※ () 内は前年度実績

①相談受付状況

資金の種類	件 数
総合支援資金	140件 (139)
福祉資金	3,419件 (2,545)
教育支援資金	651件 (548)
不動産担保型生活資金	50件 (55)
計	4,260件 (3,287)

②生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件 数	金 額
総合支援資金	生活支援費	1件 (0)	450,000円 (0)
	住宅入居費	0件 (0)	0円 (0)
	一時生活再建費	0件 (0)	0円 (0)
福祉資金	福祉費	0件 (2)	0円 (468,000)
	緊急小口資金	19件 (34)	1,810,000円 (2,818,000)
教育支援資金	教育支援費	8件 (7)	4,157,327円 (9,068,000)
	就学支度費	11件 (8)	2,940,000円 (2,236,326)
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0件 (0)	0円 (0)
	要保護世帯向不動産担保型生活資金	1件 (0)	6,774,600円 (0)
計		40件 (51)	16,131,927円 (14,590,326)

③臨時特例つなぎ資金の貸付状況 ※ () 内は前年度実績

資金の種類	件 数 (件)	金 額 (円)
臨時特例つなぎ資金	0件 (0)	0 (0)

④事務局審査

20回(資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査)

⑤生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への出席 8回

⑥生活福祉資金研修会の開催

新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

⑦督促状送付

1,436件

⑧新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付の貸付状況※（ ）内は前年度実績

資金の種類	件数(件)	金額(円)
緊急小口資金	360 (835)	54,160,000 (127,270,000)
総合支援資金	241 (181)	122,880,000 (74,958,000)

※相談件数 来所 643件 (1,711件)、電話 3,907件 (3,802件)

⑨広報あきたに貸付事業について掲載し啓発に努めた。

(4) 生活困窮者への食支援 ※（ ）内は前年度実績

①緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と意思立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。また、ゴールデンウィークや年末年始に秋田市へ食料品を設置して対応した。

支援対象数 88件 127名 (57件 86名)

②フードドライブへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それらをフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計 2,231点(1,639点)

③コープフードバンク事業への協力

生活困窮などにより食品等を必要としている世帯を把握したときに、コープフードバンク(コープ東北サンネット事業連合)から必要なものを無償提供してもらう事業に協力した。

困窮世帯への支援 1件 (3件)

(5) 罹災世帯への見舞金支給

・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹災区分	罹災世帯数	見舞金額
全焼件数	3件	60,000円
半焼件数	0件	0円
床上浸水件数	27件	270,000円
計	30件	330,000円
前年度	19件	300,000円

10 福祉啓発・情報提供の充実

(1) 広報活動 ※（ ）内は前年度実績

①広報誌の発行

・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	114,000部 (114,000)
------	--------	------	--------------------

・ミニ広報誌を発行し、地区社協、地区民児協、市民センター、地域センター、コミセンへ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	2,500部 (2,568)
------	--------	------	----------------

②ホームページの運用

・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。

・アクセス件数 60,027件 (62,347) (ホームページアドレス <https://www.akita-city-shakyo.jp/>)

③SNSの運用

・ツイッター、フェイスブックにおいて定期的に更新を行った。

(2) 社会福祉大会の開催

新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止した。なお、社会福祉功労者の表彰式を行った。

開催日 令和3年11月10日(水)
 会場 秋田市文化会館 大ホール
 被表彰者26名、感謝状2名

(3) 福祉教育の推進 ※ () 内は前年度実績

- ・職場体験学習の受入れ 中学校 0校 (1) 0名 (5)
- ・バリアフリー教室への協力 小学校 6校 (6) 313名 (404)
- ・機材の貸出状況

	貸出件数	延べ数
車いす	10件 (23)	55台 (128)
高齢者疑似体験セット	14件 (14)	54台 (47)
視覚障がい者体験グラス	9件 (19)	63台 (20)
アイマスク	9件 (18)	160枚 (442)

(4) 地域福祉フェアの開催

・市民へ向けて地域福祉について知っていただく「みて・ふれて・しる」をテーマに市社協および地区社協で取り組んでいる事業や地域福祉活動等を紹介する「地域福祉フェア2021」を開催した。

開催日：令和4年2月1日～2月8日 地区社協紹介
 令和4年2月9日～2月14日 市社協事業紹介
 会場：秋田市役所市民ホール

1.1 介護保険等事業の充実

(1) ホームヘルパー事業

①利用状況

	障害者 総合支援	事業 対象者	介護保険							計	前年度
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	426	11	509	563	721	494	201	39	13	2,977	3,155
延べ利用回数	4,224	44	2,683	3,312	5,883	5,449	4,729	1,074	376	27,774	32,587

②人員体制 (3月末現在)

常勤	契約	非常勤	登録	計	前年度
7	13	3	33	56	57

③ガイドヘルパー数

登録数
3

(2) 居宅介護支援事業

①利用状況

		総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
秋田	延べ人数	9	391	407	1,164	775	381	288	196	3,698	3,627
	月平均	0.75	32.6	33.9	97	65.5	31.7	24	16.3	308.1	304.1
河辺	延べ人数	0	57	85	479	303	415	193	66	1,599	1,506
	月平均	—	3.5	5.3	29.9	18.9	25.9	12	4.1	99.6	99.9
せせらぎ	延べ人数	0	26	28	335	246	217	105	47	950	1,036
	月平均	—	2.1	2.3	27.9	20.5	18.0	8.7	3.9	83.4	86.3

②人員体制 (3月末現在) ケアマネジャー数 秋田10人、河辺4人、せせらぎ3人

(3) 通所介護事業

①利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
河 辺	実人員	8	60	161	156	120	8	9	522	619
	延べ利用回数	36	405	1,455	1,131	1,158	127	52	4,364	4,986
八 橋	実人員	117	164	310	321	52	45	17	1,038	1,009
	延べ利用回数	512	1,194	2,329	2,613	403	257	113	7,421	7,132

②人員体制 (3月末現在)

【河辺】管理者1名(介護職員を兼務)、生活相談員3名(常勤専従1、常勤兼務2)、看護職員2名(常勤兼務1、非常勤兼務1)、介護職員7名(常勤専従1、常勤兼務4、非常勤専従2)

【八橋】管理者1名(介護職員を兼務)、生活相談員2名(常勤専従1、常勤兼務1)、看護職員3名(常勤兼務1、非常勤兼務2)、介護職員8名(常勤専従3、常勤兼務2、非常勤専従3)

③実習生等受入状況

八橋デイサービスセンター：延べ36人(秋田市医師会立秋田看護学校)

(4) 秋田市地域包括支援センター運営事業

①活動状況

単位：件

	総合相談	権利擁護	ケア会議	申請代行	地域連携等	予防プラン	内プランの委託
八橋地域包括支援センター社協	1,029	213	6	315	16	3,174	2,054
河辺地域包括支援センター社協	500	46	4	157	38	1,051	398
川元地域包括支援センター社協	1,236	58	8	192	40	2,310	1,610

②広報紙の発行(八橋3回、河辺1回、川元2回)・ホームページ掲載

③実習生等受入状況

- ・八橋地域包括支援センター社協：延べ13人
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学)
- ・河辺地域包括支援センター社協：延べ2人
(日本赤十字秋田看護大学)
- ・川元地域包括支援センター社協：延べ11人
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会立秋田看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

④認知症サポーター養成講座への講師派遣

- ・八橋地域包括支援センター社協：9事業所 231人参加
- ・川元地域包括支援センター社協：1事業所 12人参加

⑤認知症予防事業等

(八橋地域包括支援センター社協)

- ・住民や事業所等3か所に認知症に関する講話を実施
- ・認知症カフェの開催(設立支援)

場所：カフェ月(ゆえ)

開催日時：令和3年11月22日、12月17日、令和4年3月18日 参加者延べ人数14名

内容：日本茶(檜山茶)に関する健康講話、創作活動、お茶を飲みながらの交流

- ・「アタマとカラダの健康教室」

中央圏域認知症地域支援推進員と協働して、認知症予防のため活動を通じて、地域住民との交流促進および生きがいづくりの機会を設け、認知症予防に自ら取り組む地域づくりを支援した。

実施期間 令和3年7月13日～令和3年10月26日 毎月第2・4火曜日

実施内容 コグニサイズ(有酸素運動と認知課題を組み合わせたエクササイズ)・脳トレ・認知機能測定

実施回数 8回、利用実人数6人、利用延人数45人

(河辺地域包括支援センター社協)

- ・「アタマとカラダの健康教室」

旭川包括認知症地域支援推進員と協働開催した。体操サークルへコグニサイズ継続に向け支援した。また、令和3年1月13日に結果報告会を開催した。

実施機関 令和3年9月2日～12月16日 第1・3木曜日

実施内容 コグニサイズ(有酸素運動と認知課題を組み合わせたエクササイズ)・脳トレ・認知機能測定

実施回数 8回、利用実人数14人、延参加人数115人

- ・圏域内の14か所の地域サロンや地区組織の会合で認知症予防や権利擁護について周知を図った。

(5) 通所型介護予防フォローアップ事業

二次予防事業の参加者が、事業終了後も主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことにより、居宅において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるように支援した。

- ・河辺地域包括支援センター社協

実施内容 運動機能向上(簡易器具を使用したトレーニング・ストレッチ)

支援回数 24回、延べ参加者数 95人

(6) 秋田市高齢者生活支援体制整備事業

八橋・河辺・川元の地域包括支援センター圏域において、生活支援コーディネーター1名を設置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。

①八橋地域包括支援センター圏域

ア 協議体の開催

- ・八橋旭北高齢者ささえ愛協議会(協議体)を開催(八橋地区1回、旭北地区1回、合同2回計4回)

イ 広報誌の発行

- ・「ささえあい通信」を3回発行し圏域内の住民と関係機関へ配布

ウ 集いの場づくりの支援

- ・集いの場立ち上げ支援（認知症カフェ開催 3 回各回住民 4～6 名参加）

エ 生活支援・見守りの形の創出

- ・町内会単位での取り組み（11 月に八橋新川向南町内で班長座談会開催 1 回）

②河辺地域包括支援センター圏域

ア 協議体の開催

- ・ささえ愛せせらぎ協議会（協議体）を 4 回開催
- ・協議体主催で地域サロンの代表者を対象に「サロン情報交換会」を開催
- ・東圏域の協議体委員を対象に合同研修会を開催

イ 広報誌の発行

- ・「生活支援コーディネーター通信」を 4 回発行、3 回は福祉委員による全戸配布、1 回は公共機関・福祉事業所・サロン等関係機関へ配布

ウ 居場所づくりの支援

- ・居場所づくりのためのきっかけづくり教室等の開催 ※（ ）内は前年度実績

教室等名称	開催回数	参加延べ人数
ウォーキング教室	4 回	88 人 (41 人)
ダンディ・クッキング	3 回	17 人 (26 人)
スマホ教室	3 回	36 人

エ その他

- ・地域サロン 12 か所を訪問し、地域資源や困りごとを聞き取りした。内容をまとめ協議体と情報を共有した。

③川元地域包括支援センター圏域

ア 協議体の開催

- ・川元包括圏域きずな会（協議体）会議を、旭南、茨島、川尻地区各 2 回開催し、マップの充実を図った。
- ・川元包括圏域きずな会（協議体）全体会議を 2 回開催し、地区ごとの活動を報告し、統合を図った。

イ 広報誌の発行

- ・「川元包括圏域きずな会通信」を 2 回発行し、各関係機関に配布したほか、事務所移転の周知のため担当圏域の全戸に配布した。

ウ 居場所づくりの支援

- ・旭南集いの会、茨島あけぼの町内健康 YOGA の活動支援をした。
- ・旭南映画の集い（毎月 1 回）の定期開催を支援した。

エ その他

- ・旭南地区社協、保健推進員会、協議体で健康測定会を共催した。
- ・川元包括を会場に健康相談会を実施した。
- ・各種地域団体の会合やイベント等で講話や情報交換を行い、地域課題の把握と連携を図った。
- ・介護支援専門員を対象とした研修会を開催し地域資源や集いの場について情報提供した。

1 2 連携による推進支援

(1) 市民児協との連携

- ・市民児協と共催で秋田市社会福祉協議会表彰状・感謝状授与式を開催した。
- ・市民児協と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。
- ・令和3年9月30日に市社協・市民児協の正副会長の懇話会を開催し、「安心キット事業における郵便局との連携」「令和3年7月の大雨による被害への対応」「秋田市権利擁護センターの概要」について情報交換を行った。
- ・令和3年11月25日の市民児協理事会において「除雪支援等」について説明した。

(2) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会への協力

- ①事務局への協力
- ②ホームページ運用への協力

(3) 社会福祉法人・福祉施設等との連携

①「秋田市地域福祉おむすびネット」の実施

- ・地域における公益的な取り組みメニューを提示した「秋田市地域福祉おむすびネット」により、社会福祉法人と連携し、地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めた。

登録法人	13法人 (13)
メニュー選択	57施設 (57)

※取組内容：安心キット事業への協力、ボランティア受入、講座等への専門職派遣、災害時支援など。

②市内社会福祉事業従事者スポーツ大会および合同交流会

- ・各施設の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。

③秋田市老人福祉施設連絡協議会への協力

- ・事務局への協力

(4) 秋田県中部地区郵便局長会との情報交換会

秋田県中部地区郵便局長会の取り組み、災害ボランティアの活動状況、安心キットの配布状況について情報交換会を行った。

1 3 組織運営と財政基盤の強化

(1) 理事会、評議員会等の開催 ※ () 内は前年度実績

会議名	回数	年月日	案件
正副会長会	2回(3)	令和3年5月14日	監事会、理事会、評議員選任・解任委員会、定時評議員会の案件
		令和4年3月15日	理事会、評議員会の開催および案件事項
監事会	1回(1)	令和3年5月20日	令和2年度事業報告および収支決算、財産目録、貸借対照表および収支計算書監査
理事会	5回(2)	令和3年5月6日	(決議の省略による開催) 評議員会の招集等

		令和3年6月8日	令和2年度事業報告および収支決算の承認、理事および監事候補者の選任、福祉サービスに係る苦情解決事業の第三者委員の選任、評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員選任候補者の推薦、定時評議員会の招集等
		令和3年6月29日	会長、副会長、常務理事、顧問、評議員選任・解任委員の選任
		令和3年11月30日	(決議の省略による開催) 職員給与規程の一部改正
		令和4年3月23日	令和3年度資金収支第1次補正予算(案)、定款の一部改正、秋田市から市民小口資金原資を借入する件、市民小口資金貸付規程の一部改正、職員給与規程・準職員給与規程の一部改正、育児・介護休業等に関する規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、令和4年度事業計画(案)および資金収支予算(案)、評議員会の招集等
評議員会	3回(2)	令和3年5月14日	(決議の省略による開催) 定款の一部改正
		令和3年6月22日	令和2年度事業報告および収支決算の承認、理事および監事の選任
		令和4年3月30日	令和3年度資金収支第1次補正予算(案)、定款の一部改正、令和4年度事業計画(案)および資金収支予算(案)

(2) 委員会等の開催

- ①「ボランティア基金管理運営委員会」の開催(令和3年7月1日)
- ②「表彰者審査委員会」の開催(令和3年9月30日)
- ③「評議員選任・解任委員会」の開催(令和3年6月15日)

(3) 組織運営体制の強化

- ①諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。
- ②重層的支援体制整備事業や生活困窮者自立支援事業等について市と協議した。

(4) 事業の評価点検

令和2年度に実施した事業の評価点検をし、秋田市地域福祉アクションプラン2019(秋田市地域福祉活動計画)の進行管理を行った。

1.4 財源の確保

(1) 会員加入の促進

ア 一般会員の状況 (R4.3.31現在) 39地区 89,981世帯 × 360円 = 32,393,160円
(※前年度実績 39地区 90,135世帯 × 360円 = 32,448,600円)

イ 特別会員の状況 (R4. 3. 31 現在)

区 分		会員数	口数	会 費	前 年 度		
					会員数	口数	会 費
個 人	地区社協役員	293名	293口	293,000	296名	296口	296,000
	民生委員・児童委員	717名	717口	717,000	714名	714口	714,000
	福祉施設職員	39名	49口	49,000	42名	47口	47,000
	一般市民	26名	47口	47,000	31名	54口	54,000
	市・社協職員	229名	229口	229,000	238名	242口	242,000
小 計		1,304名	1,335口	1,335,000	1,321名	1,353口	1,353,000
団 体	地区社協	39団体	39口	195,000	39団体	39口	195,000
	社会福祉事業施設	53団体	66口	132,000	52団体	65口	130,000
	社会福祉団体	34団体	44口	88,000	31団体	37口	74,000
	企業・法人	29団体	29口	290,000	28団体	28口	280,000
小 計		155団体	178口	705,000	150団体	165口	679,000
合 計		1,459	1,513口	2,040,000	1,471	1,518口	2,032,000

(2) 共同募金への協力

- ①共同募金の助成を受けて事業を行っていることをPRし、市民の意識の高揚を図った。
- ②秋田市共同募金委員会事務局へ協力し、地域福祉活動のための財源確保に努めた。

(3) 善意銀行の運営 ※ () 内は前年度実績

- ①市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、本会事業の目的とする事業へ充当した。
- そのほか、交通災害遺児激励金等については指定された事業等へ充当した。

一 般 寄 付 金	篤志寄付	29件 (29)	738,278円	(499,236)	
	香典返し	3件 (1)	340,000円	(200,000)	
	計	32件 (30)	1,078,278円	(699,236)	
指 定 寄 付 金	一円玉寄付金	1件 (1)	20,000円	(19,000)	交通災害遺児激励金に充当
	その他指定寄付金	5件 (7)	654,940円	(1,031,180)	
	計	6件 (8)	674,940円	(1,050,180)	
合 計		38件 (38)	1,754,218円	(1,749,416)	

②企業・団体からの寄付物品等

- ・手作りお手玉 160個 (秋田市母子寡婦福祉連合会 夢クラブ)
- ・カレンダー 約1,700部 (㈱くまがい印刷)
- ・カレンダー 150部 (東北電力㈱秋田火力発電所)
- ・カレンダー、手帳 101部 (石油資源開発㈱)
- ・介護用ベッド 2台 (秋田セールスプレーヤー協会)
- ・介護用ベッド 1台 (秋田市総合振興公社)
- ・エアマット 3台 (秋田市総合振興公社)
- ・スノーダンプ 5台 (秋田県中部地区郵便局長会)
- ・タオル 55枚 (柳町町内会女性部)
- ・タオル 100枚 (寺内小学区社会福祉協議会)
- ・食料品 100セット (秋田東ロータリークラブ)

- ・食料日用雑貨品 263点 (㈱ダイナム)

③個人からの寄付物品等

車いす、人参、介護ベッド、エンシュア、紙おむつ、パイプ椅子、ランドセル、タオル、下着類、毛布、タオルケット、ひな人形、雪かき棒、千羽鶴、カレンダー、食品

(4) 基金および積立金の運用

- ・国債により運用した。(ボランティア基金積立資産、福祉事業基金積立資産、居宅介護等積立資産)

1.5 役職員の資質の向上と派遣

(1) 役職員研修

- ・役員の研修会については、新型コロナウイルスの感染防止の観点から参加を見送った。
- ・研修計画に基づき、職員研修の機会を設け、資質の向上と自己研鑽のため職員の育成に努めた。
- ・新人職員に対して研修を実施した。
- ・内部研修を実施した。

(2) 研修会への参加

- ・職員の資質向上のため各種研修会へ職員参加。(オンラインも含む。)

(3) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要請により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

1.6 その他

(1) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業【市委託】 ※ () 内は前年度実績

・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他	合計	グラウンド ゴルフ
件数	243 (218)	16 (6)	35 (39)	12 (28)	306 (291)	52 (63)
人数	3,491 (3,628)	3,547 (905)	773 (1,141)	2,038 (1,118)	9,849 (6,792)	2,665 (2,411)

(2) 秋田県社会福祉法人経営者協議会の秋田県地域公益活動事業

①秋田県地域公益活動事業へ参画法人として拠出金を負担。(年額1万円)

②生活困窮者への生活用品の支給

地域包括支援センターを受託している秋田市内の12法人と連携を図り、生活に困窮している高齢者世帯等に食料品、衣類、おむつ、診察代、光熱水費などの支援を行った。また、フードバンクあきたやコープあきたから寄付された玄米520キロを精米し、生活困窮者へ配布した。

助成金額 150,000円

支援対象世帯 35世帯

③秋田県地域公益活動連絡会で「生活困窮者への生活用品の支給について」事例発表した。

令和4年3月14日 ウェブ

(3) 秋田県共同募金会からの助成

・秋田県共同募金会の「いのちをつなぐ支援活動を応援」全国キャンペーンにより助成を受け、コロナの影響により生活困窮となった世帯へ食料品、生理用品、トイレトペーパー、薬、おむつ、調味料、ガソリンなど日常生活に必要な生活用品等を支給し自立支援を行った。

助成金額 300,000 円

支援対象世帯 93 世帯

・秋田県共同募金会から助成を受けて、災害ボランティアセンターで使用する資機材を整備した。

資機材の購入物品

テント、テント用四方幕、照明器、投光器、ポータブル電源、ソーラーチャージャー、対流式ストーブ、ポータブル投光器、スポットクーラー

助成金額 832,000 円

(4) 全社協、県社協会長表彰

秋田市地域福祉おむすびネットの取り組みが社会福祉協議会優良活動として全国社会福祉協議会会長および秋田県社会福祉協議会会長表彰を受賞した。

(5) あきた子ども応援ネットワークへの参加

支援を必要とする親子に、個人や企業・団体の支援者によるネットワークでつなぎ支援する、「あきた子ども応援ネットワークへ」登録した。また、令和4年3月にこのネットワークを介して、NTT東日本秋田支店から寄付になった非常災害用食料品の提供を受け、生活困窮世帯へ配布した。

社 協 活 動 主 要 記 録

令和 年月日	主 要 事 項	開催場所等
3. 5. 14	正副会長会(令和2年度事業報告および収支決算等)	秋田市老人福祉センター
20	監事会(令和2年度監査)	〃
6. 1	秋田市地区社会福祉協議会連絡会ブロック会議	〃
8	理事会(令和2年度事業報告および決算認定等)	〃
15	評議員選任・解任委員会(評議員の選任について)	〃
18	秋田東ロータリークラブ贈呈式(食料品等)	〃
29	理事会(会長の選任等)	〃
7. 1	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	〃
8. 23	秋田市社会福祉大会打合せ会	〃
9. 14	社会福祉法人指導監査	〃
30	秋田市社会福祉大会表彰者審査会	〃
30	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
10. 7	秋田市体育協会チャリティータンゴゴルフ贈呈式(寄附金)	〃
28	秋田県社会福祉協議会会長表彰(優良社会福祉協議会)受賞	秋田キャッスルホテル
11. 1	川元地域包括支援センター社協事務所移転	旧旭南デイサービスセンター
1	秋田セールスプレーヤー協会贈呈式(介護用ベッド)	秋田市老人福祉センター
10	秋田市社会福祉協議会表彰状・感謝状授与式	秋田市文化会館
14	あずさ愛福祉歌謡祭贈呈式(寄附金)	〃
19	全国社会福祉協議会会長表彰(社会福祉協議会優良活動)受賞	
24	秋田県中部地区郵便局長会と市社協の情報交換会	秋田市老人福祉センター
30	(株)ダイナム贈呈式(物品等)	〃
12. 17	秋田市母子寡婦福祉連合会夢クラブ贈呈式(お手玉)	〃
18	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	〃
21	救急医療情報キット(安心キット)事業推進会議	〃
21	真如苑寄附贈呈式(寄附金)	〃
22	(株)くまがい印刷贈呈式(カレンダー)	〃
4. 1. 1	秋田市権利擁護センター運営開始	秋田市老人福祉センター
26	秋田市地区社協会長・事務担当者研修会	イヤタカ
26	秋田市地区社協連絡会合同研修会	〃
2. 1	地域福祉フェア開催(~14日)	市役所市民ホール
3. 14	秋田市総合振興公社贈呈式(介護用ベッド等)	秋田市老人福祉センター
15	正副会長会(補正予算、令和4年度事業計画および予算等)	〃
23	理事会(補正予算、令和4年度事業計画および予算等)	〃
30	評議員会(補正予算、令和4年度事業計画および予算等)	〃